

ユーラ・ギガ  
Jura GIGA X8CG2-CAS 取扱いマニュアル

ユーラ ギガ X8CG2-CAS ご使用に際して（重要事項）

本マニュアルは大切に保管してください。  
また長くご使用いただくために下記の事をお守りください。

1. 定期点検

メインユニットは約一年でオーバーホールが必要です。年に一度販売代理店で定期点検を行ってください。

2. カルシウム除去

定期的にボイラーや配管のカルシウム詰まりを防ぐためカルシウム除去が必要です。  
カルシウム除去剤を販売代理店でご購入いただきカルシウム除去を行ってください。

3. 毎日の洗浄（コーヒーライン/ミルクライン）

長くお使いいただくために専用洗剤による洗浄を毎日行ってください。毎日洗浄を行わなかった場合、メインユニットの寿命が半分程度になったりミルクが正しく出なくなる事があります。  
洗浄を行っていない場合の故障は保証外となりますのでご注意ください。洗剤は専用のものを販売代理店でご購入ください。

4. 保証書

故障で保証をお受けになる場合保証書を必ずご提示ください。保証書の提示がない場合保証を受けられない場合があります。

5. 修理の場合

故障、定期点検の場合は販売代理店にご連絡ください。



ユーラ  
コントラストアロマスペシャル  
ユーザーサポート  
GIGAX8CG2-CAS



ユーラ  
コントラストアロマスペシャル  
ユーザーサポート  
トップページ



該当機種のパージを  
選択してください

p.01	: ご使用に際して	p.08	: マシン洗浄
p.02	: 安全にお使いになるために	p.09	: ミルクシステムの洗浄
p.03	: 製品保証書	p.10	: ミルクシステム分解清掃
p.04	: 各部名称	p.11	: CA 除去
p.05	: 抽出の準備	p.12	: メニュー設定変更
p.06	: メニューの抽出	p.13	: こんなときは・トラブルシューティング
p.07	: 日常のメンテナンス	p.14	: 機能一覧



## 安全にお使いになるために

本機を安全にお使いいただくため、機械の電源、設置及び日常の取り扱い時にぜひ守っていただきたい注意とお願いを記述しました。必ずお読みください。

⚠ 警告：死亡や重傷を負う可能性がある行為

⚠ 注意：軽傷や中程度の障害および物的損傷を負う可能性がある行為

### 機械電源について

⚠ 注意：コンセントについて

●本機は単相 200V 専用機です。必ず専用回線を設けてご使用下さい。コンセントは、単相 200V (ボルト) で機械一台あたり 15A(アンペア) 以上の容量を持ったものを本機専用としてご使用ください。

テーブルタップ等でのタコ足配線は発煙、発熱など思わぬ事故につながる恐れがあります。

⚠ 注意：電源プラグ/コードについて

●機械の電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていないと、発煙、発熱など思わぬ事故につながる恐れがあります。

機械の電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。確実に差し込まれていても電源プラグとコンセントの差し込み状態がゆるんでいる場合は販売店にご相談下さい。

●機械の電源プラグやコードが損傷したりすると、発熱、ショート、発火などの事故につながる恐れがあります。

機械の電源コードに重いものを乗せたり、足で蹴るなど衝撃を与えないでください。万一 衝撃を与えて電源プラグ端子を曲げたり、コードを傷つけたときは、販売店に連絡し、修理を依頼してください。

お客様が独自に修理をしないでください。

⚠ 注意：タコ足配線の禁止について

●発熱、発火などの事故につながる恐れがありますので、テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを利用したタコ足配線は絶対にしないでください。

⚠ 注意：延長コードについて

●延長コードには流せる電流に限界があり、不適切な延長コードを使用すると発煙、発熱など思わぬ事故となります。

電源の延長コードが必要な場合は、販売店にご相談ください。定格不足の延長電源コードやリール式延長電源コードは絶対に使用しないでください。また、機械の電源コード や接続している延長電源コードは束ねないでください。

⚠ 警告：アース線について

●接続 (アース) していないと、機械に漏電があるとき、機械の操作中に感電する危険があります。

●アース線を不適切な場所に接続すると、爆発したり、感電したりする危険があります。

アース線は次の場所に接続しないでください。

①ガス管②避雷針③電話専用アース線④樹脂製の水道管および水道局がアースの対象物と許可していない水道管や蛇口

### 日常の取り扱いの注意

⚠ 注意：コーヒー抽出時の事故防止

●スチームノズルやコーヒー抽出部は高温になっています。火傷の恐れがありますので、蒸気やコーヒーまたは金属部分に直接触れないようご注意ください。

⚠ 警告：トラブルがあったときの処置

●機械内部には高温・高電圧の部分があり、触れると火傷や感電により死に至る恐れがあります。

●機械の修理が必要なときは必ず販売店に連絡してください。お客様ご自身の修理は絶対に行わないでください。

●機械から異常な音、臭い、煙などが発生したら、直ちに使用を中止して、電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて、販売店に連絡してください。

●ブレーカーやヒューズが切れるようなことがありましたら、使用を中止して販売店にご連絡ください。ヒューズ取付の際、定格以外のヒューズや針金などは絶対に使用しないでください。

⚠ 注意：火災などの事故防止

●火災などの原因となることがありますので、機械の近くではシンナーやアルコールなどの揮発性可燃物の使用は避けてください。

⚠ 注意：機械改造の禁止

●機械の改造や部品の取り外しは思わぬ事故を引き起こします。絶対に行わないで下さい。

⚠ 注意：漏電などの事故防止

●機械に水やその他の液体をこぼさないでください。

⚠ 注意：機械故障の防止

●機械の内部にクリップなどの金属片を落とさないでください。

●コーヒー抽出以外の目的に使用しないでください。

⚠ 注意：日常の機械点検のお勧め

●定期的の下記の点検を必ず行ってください。

①電源コードやプラグが異常に発熱していませんか。

②電源コード、プラグのゆるみ、およびコードの切り傷や擦り傷がありませんか。

③アース線が正しく接続されていますか。

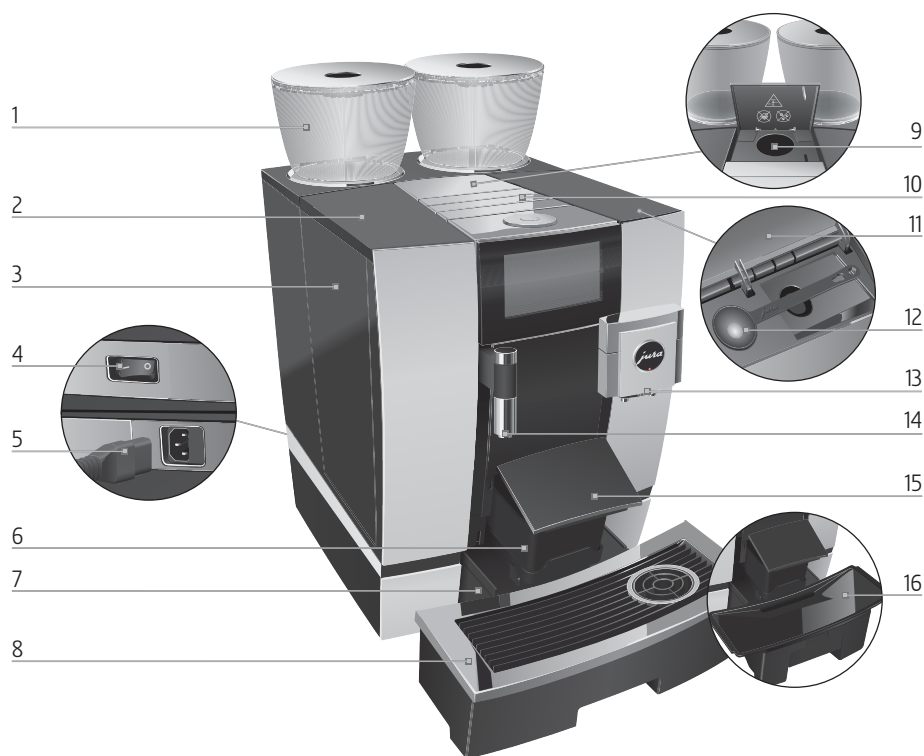
⚠ 注意：通電について

●夜間など長時間ご使用にならないときは必ず電源を切ってください。

⚠ 注意：設置環境について

●周辺温度が 30℃ 以上になる場所でのご使用はおやめ下さい。

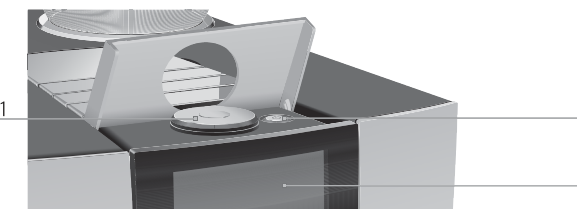
# 各部名称



- |                         |                            |
|-------------------------|----------------------------|
| 1: コーヒー豆コンテナ / アロマ保存カバー | 9: 洗浄タブレット投入口 (コーヒー粉投入口)   |
| 2: 水タンクフタ               | 10: ベンチレーションリブ (換気口)       |
| 3: 水タンク                 | 11: 備品入れカバー                |
| 4: 主電源スイッチ              | 12: 粉コーヒー計量スプーン            |
| 5: 電源ケーブルのプラグイン (マシン背面) | 13: コーヒー & ミルク抽出口 (高さ調節可能) |
| 6: カス容器                 | 14: 給湯ノズル (高さ調節可能)         |
| 7: 排水トレイ                | 15: フロントカバー                |
| 8: カップグリル               | 16: 排水トレイ インサート            |

## 【ディスプレイ周辺】

- 1: ロータリースイッチ  
回して選択肢を表示  
ボタンを押して決定・保存・実行
- 2: オン / オフボタン
- 3: ディスプレイ



## 【スタートスクリーン】

初期表示されている 2 枚のメニュー画面。  
**ページ送りは画面右上の 1/2・2/2 をタッチ**  
**(スワイプでは動きません)**  
 ※その他のメニューはロータリースイッチを回転させると表示されます。

マークの意味

**メンテナンス**: 必要なお手入れがあることを示しています。画面左上 P からプログラム画面に入り、お手入れを行います。

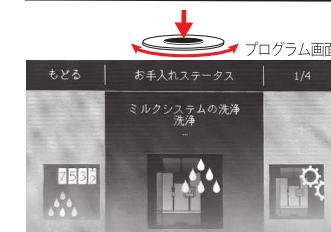
**省エネモード** を適用した場合には表示されます。

**WiFi 機能** を使用している場合には表示されます。



## 【プログラム画面】

スタートスクリーン左上 P またはロータリースイッチを押すと表示されます。  
 ロータリースイッチを操作して以下のプログラムへ  
 お手入れ・マシン設定・メニュー設定・情報  
 (詳細→PXX 機能一覧)



## 【マシン背面】

- 1: サービスカバー (指で押して開けます)
- 2: ロック装置
- 3: 豆容器シャッター
- 4: サービスソケット : スマートコネク



## 【同梱品】

水硬度試験紙  
 ミルクホース + ジョイント  
 フローサー抽出口先端部スペア  
 ジョイントスペア

専用キー  
 ミルク洗浄用コンテナ  
 粉コーヒー計量スプーン  
 電源コード  
 洗浄剤試供品 (2 種)



## ▶ 抽出の準備

### 前提条件

- ※水平かつ平滑で頑丈な場所に設置されていること
- ※水や蒸気がかかる場所、高温になる場所を避け通気を確保（変形や故障・オーバーヒートの恐れがあります）
- ※本コーヒーマシン専用の単相 200V 電源にプラグを挿入
- ※布や食器でベンチレーションリブ（換気口）を覆わないこと

### ① 水経路の確認

ご使用の設置環境により、給水栓より水が供給されるよう準備します。

### ② 豆ケースに豆を入れる

アロマ保存カバーを取り外します。  
豆容器内部の汚れや異物を確認し、あれば取り除きます。  
コーヒー豆で豆容器を満たしアロマ保存カバーを閉じます。

#### ご注意

- ※冷蔵庫・冷凍庫で保管している豆は常温に戻してご使用ください。
- ※添加剤（例えば糖やフレーバー）で処理したコーヒー豆、挽き豆または凍結乾燥コーヒーは、グラインダーを損傷します。豆コンテナには無添加の正しくローストされたコーヒー豆だけを使用します。
- ※豆ケースに誤って水を入れないよう十分ご注意ください。内部のグラインダーを損傷させる恐れがあります。異物や水はねの混入を防ぐため豆の充填時以外は必ずフタをして下さい。

### ③ 電源を入れる

マシン背面の主電源が入っていることを確認します。  
抽出口の下に排水受を置きます。  
マシン上部のカバーを開きオン/オフボタンを押します。  
「ご利用ありがとうございます」  
「マシンをすぎます」 抽出口から少量のお湯が出ます。  
「加熱しています」

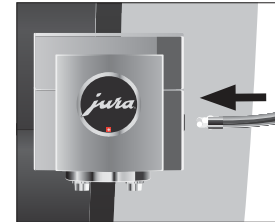


メニューアイコンが並んだ  
スタートスクリーンが表  
示されます。



### ④ ミルクの用意

抽出口右側のコネクタに  
ミルクチューブを接続します。  
もう一方の先端をミルクに  
差し入れます。



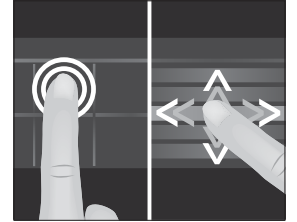
#### ご注意

成分無調整の牛乳を使用してください。ロングライフ・ローファットは目詰まりの原因となります。  
牛乳を泡立てるための最も重要な要件は、4~8℃のミルク温度です。ミルククーラー（別売オプション品）のご使用をお勧めします。

## ◆ 基本操作

### ▶ 画面操作

【タッチ】  
メニューの抽出や項目選択等  
【スワイプ】  
量の増減などの設定変更  
画面上で指を左右または上下に  
すべらせて指定します。  
※スタートスクリーン表示中は  
スワイプの操作はできません



### スタートスクリーン

常時表示されている  
メニュー選択画面



### ▶ ロータリースイッチ

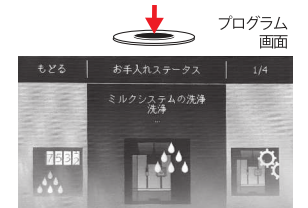


### ◎ スタートスクリーン表示中

【押す】  
メンテナンス & 設定ができる  
プログラム画面へ

### 【回す】

メニューセクタ \* へ  
(スタートスクリーンにないメニューの表示画面) \*



### ◎ メニューセクタ \* 表示中

(ロータリースイッチを回すと現れるメニュー画面) \*

### 【押す】

中央に表示されたメニューの抽出

### 【回す】

メニューセクタ内のページ送り



### ◎ その他プログラム内各種画面表示中

【回す】 ページ送りや選択肢の移動等

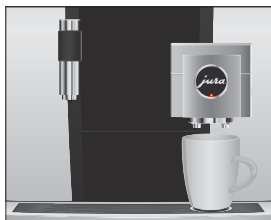
【押す】 決定



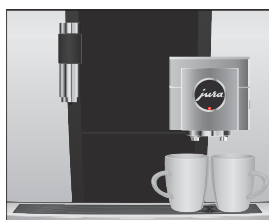
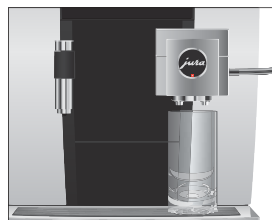
## ▶メニューの抽出

### 前提条件

抽出の準備ページを参照し、水、豆、ミルクの用意ができています。使用するカップ、グラスを用意し、その高さにあわせて抽出口の高さを調整しておきます。



コーヒー、ミルク（を使用したメニュー）は右側の抽出口から提供されます。



2杯取メニューの場合は右側抽出口の下にカップを並べておきます。



熱湯は左側の給湯ノズルから提供されます。

抽出メニューは以下から選択できます。

- ◆スタートスクリーンから（2画面）
- ◆メニューセレクタから（ロータリースイッチを回す）
- ◆粉コーヒー（コーヒー粉投入口から）

### 全メニュー共通

いずれの場合も抽出中左上に表示される「キャンセル」ボタンを押すと抽出を途中でとめることができます。

### ご注意

#### 省エネモード適用の場合

最後の抽出から5分が経過すると自動的に省エネモードに入ります。省エネモード中にメニューボタンを押すと豆を挽いた後に温度計の表示が現れマシンを再加熱します。加熱終了後にメニューを抽出しますのでそのままお待ちください。（省エネモードの解除→P14 機能一覧：省エネルギー参照）



## ◆スタートスクリーンから

抽出したいコーヒーメニューのアイコンをタッチします。

例：コーヒーの抽出



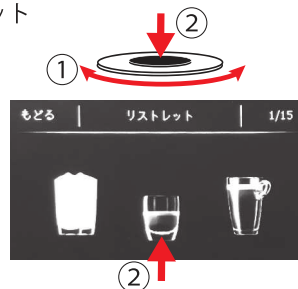
※画面右上 1/2・2/2 にタッチすると次画面に移ります（全2面）

※スワイプでは画面変更できず、指が触れた近くのメニューが抽出されてしまう事がありますのでご注意ください！

## ◆メニューセレクタから

スタートスクリーンにないメニューはマシン上部のロータリースイッチを回転すると表示されます。抽出したいメニューを画面中央に大きく表示させた状態でロータリースイッチを押すか、メニューアイコンにタッチします。

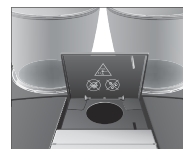
例：リストレットの抽出



## ◆粉コーヒーの抽出

コーヒー粉投入口カバーを開きます。「**コーヒー粉を入れてください**」付属の計量スプーンでコーヒー粉を入れます。※上限すりきり2杯まで「**コーヒー粉投入口を閉じます**」

抽出可能なメニューのみ点灯、ご希望のアイコンにタッチ。選択したメニューが設定量で抽出されます。



### ご注意

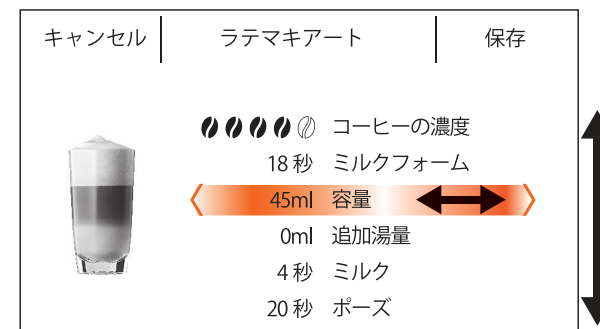
※粉コーヒー充填後1分以内に抽出ボタンを押して下さい。それを過ぎるとリセットされ充填した粉が廃棄されます。※充填量が不十分な場合「**コーヒー粉が足りません**」と表示され抽出がキャンセルされます。※中細挽きの粉をご利用下さい。挽き目の細かすぎる粉を使用すると目詰まりをおこしコーヒーがドリフトトレイに流れでてしまいます。※粉コーヒーの抽出は都度粉を投入します。粉をためておく事はできません。※インスタントコーヒーはご使用になれません。

## ◆抽出中のメニュー調整

抽出中にコーヒーの濃さや量を変えることができます。

現在行われている動作がオレンジでハイライトされます。その間に画面をスワイプすると動作中項目の調整ができます。（コーヒーの濃さ、容量、ミルク（フォーム）秒数等）

例：ラテマキアートのコーヒー容量を変更する



コーヒーの抽出中「容量」がハイライトされている間にオレンジの部分のスワイプ（右＝増・左＝減）

※画面に見えていない項目を表示したい時は上下にスワイプします

最後に右上に表示される「保存」を押せば、次回からはその設定となります。「保存」を押さなければ元々の設定は変更されません。

※抽出中のメニュー調整では温度や追加湯量\*は変更できません。\*追加湯量→P12メニュー設定変更 備考欄参照

本格的に各メニューの設定変更をしたい場合は  
**P.12 メニュー設定変更**をご参照ください

# ▶ 日常のメンテナンス オペレーション中に良く出る表示とその対処方法、ご注意いただきたいこと

## マシンを洗浄してください

(毎日)→P08  
※業務使用の場合は1日1回行うので通常は表示されません。



カフェラ・ウォッシュ (60錠)

## ミルクシステムの洗浄が必要

(毎日)→P09



Jura ミルクライン用洗剤 ミニタブ (60回分)

## カルキ除去 (CA 除去)

(表示が出たら)→P11



Jura カルシウム除去剤 (3回分)

## フィルター交換

浄軟水カートリッジの交換時期です。  
販売店にご連絡ください

**必ず左記の純正・指定用品をご使用ください**

指定外品のご使用やお手入れを行わないことによるトラブルは保証を受けることができませんのでご注意ください。

## メンテナンスアラート

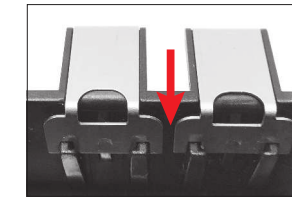
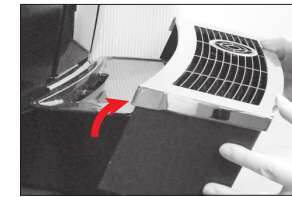
必要なお手入れがあることを示しています。画面左上 P またはロータリースwitchを押して必要なお手入れを確認し実行してください。

## フロントカバーを閉じてください

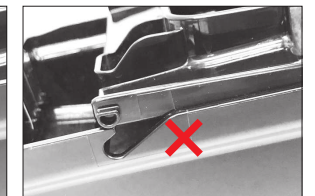
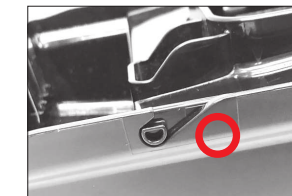
排水トレイを取り出す際に自動でカバーが開きます。トレイを戻した後にカバーを押して閉じてください。

## 排水トレイを空にしてください

左右の抽出口を上にあげ、カップグリルを取り外します。トレイ前端を軽く上に持ち上げながら手前へ引きだし、中の排水を捨てます。



※排水トレイの一番奥には金属製の接点電極があります(下図参照)日頃よりこの部分を中性洗剤でよく洗いましょう。特に金属と金属のすき間や接点裏面も丁寧に、ブラシのようなもので洗い水気を良く拭き取ってから本体に戻します。



※排水トレイを戻す際、トレイインサートが浮いているとうまく本体に戻せません。インサートが正しい位置にセットされているかサイドの溝を必ず確認してください。

排水トレイを本体に戻します  
※本体にセットしているのにこの表示が出る場合は部品が欠損している可能性があります。販売店にご連絡ください。

## 左側 / 右側容器に豆がありません

コーヒー豆が不足するとその豆を使用するメニューが暗転し抽出ができなくなります。暗転したメニューアイコンにタッチすると上記の表示が出るので指摘された側の豆容器のカバーを開けコーヒー豆を補充します(水気厳禁)

※豆を入れても次にグラインディングするまでこの表示は消えません。  
※メニュー抽出中にこの表示が出た場合、豆の補充後再度メニューボタンを押してください。

## 水タンクをすすいでください

## 水タンクに水を入れてください (CA 除去作業時のみ)

フタを開けて水タンクを取り出し、よくすすいでから新鮮な水で満たし本体に戻してください。

※電源ボタン部のカバーが開いていると水タンクカバーが開きません。  
※水タンクがまっすぐセットされているか、タンクと本体の間に豆などの異物が挟まっていないか確認してください。

※CA 除去作業終了後はよくすすぎ、必ず水を空にして戻してください。

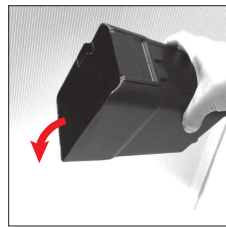
## カス容器を空にしてください

左右の抽出口を上にあげ、カップグリルを外して排水トレイをひきだし、カス容器にたまったコーヒーカスを捨ててください。

※カス捨ては電源が ON の状態で行います。  
(電源 OFF 時におこなうとカウンターが狂うため)  
※トレイ及びカス容器を本体に戻すまで 10 秒以上間をあけてください。

電源 OFF 時のカス捨てや、トレイを戻すのが早すぎるとカウンターがリセットされません。

※カス容器の入れ忘れを指摘するアラートはありません。ご注意ください。



## 排水トレイを挿入してください

# ▶ マシン洗浄 (コーヒーラインの洗浄)

毎日必須

約 20 分



## 必要なもの

洗浄タブレット  
(カフェラウオッシュ)

× 1 錠



汚れによるトラブル・故障を防ぐ為、業務にご使用の場合は終業後に毎日右記の手順で必ずマシン洗浄を行ってください。

※マシン洗浄はおよそ 20 分かかります。

※マシン洗浄は中断しないでください。

洗剤分が残ったり汚れが完全に落ちない恐れがあります。

※CA 除去の表示が出ているとマシン洗浄ができません。

先に CA 除去作業 (P11) を終えてからマシン洗浄を行ってください。

※洗浄タブレット・カフェラウオッシュはマシン販売店からご購入ください。

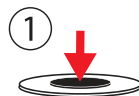
## ご注意

※販売店指定のカフェラウオッシュまたは Jura クリーニングタブレット (安全データシートあり) をご使用ください。指定以外のものを使用すると保証が受けられません。

※洗剤が皮膚や目に直接触れないよう、安全のためゴム手袋や保護メガネの着用をおすすめします。

※いかなる部品も食器洗浄機での洗浄はしないでください。ゆがみや破損の原因となります。

## 手順



または画面左上の P にタッチ



画面中央のアイコンにタッチ



または画面をスワイプ



タイトルが「マシン洗浄」になっていることを確認してアイコンにタッチ



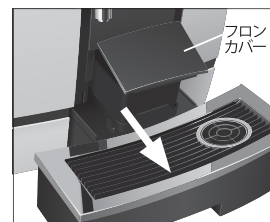
画面に従いスタートにタッチ

スタート x 2

## ⑥ 「カス容器を空にしてください」

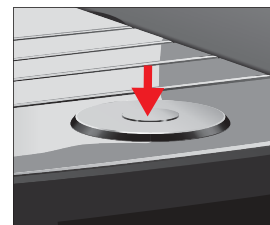
両サイドの抽出口を上にあげてから排水トレイを引き出します。排水とカスを空にして本体に戻し、フロントカバーを閉じます。

※本体に戻すのが早すぎるとマシンが手順を認識できません。10 秒以上時間をとってください。



## ⑦ 「ロータリースイッチを押してください」

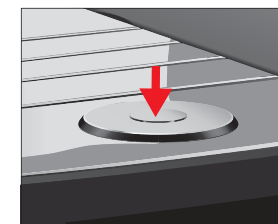
右の抽出口の下に排水受を用意し、ロータリースイッチを押します。「マシン洗浄中」



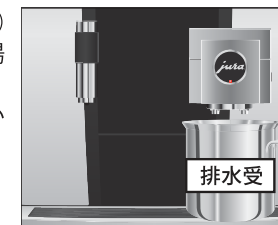
- ⑧ 「洗浄剤を入れてください」  
洗浄タブレット投入口のフタを開きます。  
洗浄タブレットを投入し、フタを閉じます。



- ⑨ 「ロータリースイッチを押してください」

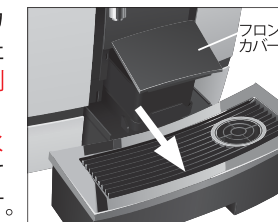


- ⑩ 「マシン洗浄中」 (約 10 分)  
右の抽出口から洗浄のお湯が排出されます。  
※ヤケドにご注意ください



- ⑪ 「カス容器を空にしてください」

⑤と同様に排水トレイとカス容器を引き出し、中にたまった排水を捨て中性洗剤できれいに洗い (特にトレイ金属接点→P07 参照) 水分を拭き取り本体に戻してフロントカバーを閉じます。  
※ヤケドにご注意ください



- ⑫ 「クリーニングが終了しました」

【ミルクメニュー不使用の場合】  
電源を切り水タンクをよく洗って水分を拭き取り、本体に戻して終了です。

【ミルクメニュー使用の場合】  
続けて次頁のミルク洗浄を行います。

# ▶ ミルクシステムの洗浄 **毎日必須** 約3分



## 必要なもの

ミルク洗浄専用コンテナ (付属品)    ミルクライン専用洗剤 ミニタブ



**× 1push**

または ※ラテ・ウォッシュ

内部シールあり。蓋をあけて剥がしてからご使用開始ください。

ミルクメニューを抽出した場合、  
**食品衛生の見地から、ミルクシステムのクリーニング (ミルク洗浄) を必ず毎日行なってください。**

※ミルクシステムクリーニングはおよそ3分かかります。  
※ミルクシステムクリーニングは中断しないでください。  
※専用洗剤はマシン販売店からご購入ください。

## ご注意

※販売店指定のミルクライン用洗剤 (安全データシートあり) をご使用ください。指定以外のものを使用すると洗剤成分がすすぎきれない可能性やマシンが破損する恐れがあり、保証を受けられません。  
※いかなる部品も食器洗浄機での洗浄はしないでください。ゆがみや破損の原因となります。  
※洗剤が皮膚や目に直接触れないよう、安全のためゴム手袋や保護メガネの着用をおすすめします。

## 手順

① または画面左上のPにタッチ



② 画面中央のアイコンにタッチ

③ または画面をスワイプ



「ミルクシステムクリーニング」の画面を表示させてアイコンにタッチ  
※ミルクを使用した場合はアイコンが赤くなっていますので必ずその日のうちに実行します。

⑤ スタート **x2**

画面に従いスタートにタッチ

## ⑥ 「ミルク用洗剤」

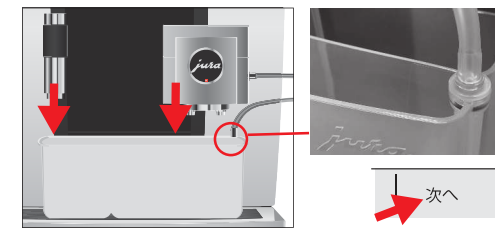
Jura のロゴマークが手前に見える状態で **コンテナ左側のスペースに洗剤** を投入します。

●専用洗剤ミニタブは容器をさかさまにして青い部分を押しと1回分の適量が出ます。

※ラテ・ウォッシュをご利用の場合は **10ml** を測り入れ、同じ手順にて行います。



⑦ 洗剤の入ったコンテナを抽出口の下にセットし、左右のノズルをコンテナの上面ギリギリまで下げます。  
ミルククーラーから外したミルクチューブを洗浄コンテナ右側の穴に接続して「次へ」



## ⑧ 「ミルク洗浄中」

左側の給湯口からお湯が出て洗剤を溶かします。  
※少々溶け残りがでる事がありますが問題ありません。

ミルクチューブが洗浄液を吸い上げ、抽出口を通り排水がコンテナ手前側に排出されます。  
※洗浄液全量は使用せず多少残ります。

続いてすすぎの水がマシンから自動的に供給されます。洗剤をすすいだ排水がコンテナに排出されます。

## ⑨ 「ミルクシステムの洗浄終了」

と表示が出て元の画面に戻ります。コンテナの排水を捨ててきれいにすすぎ終了です。 ※ヤケドにご注意ください

※続けて次頁のミルクシステム分解清掃を行います。



# ▶ ミルクシステム分解清掃

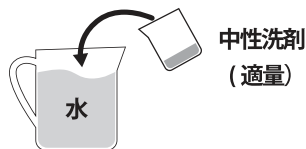
毎日必須



約 15 分



## 必要なもの



衛生上の見地から、また、ミルクシステムの性能維持のため、ミルクを使用した場合はミルクシステムを**毎日分解清掃する必要があります**。(洗浄を促すサインなどは出ません)

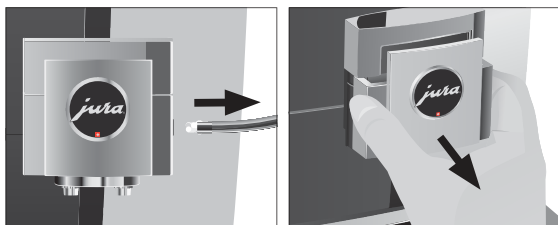
## ご注意

※いかなる部品も食器洗浄機での洗浄はしないでください。ゆがみや破損の原因となります。

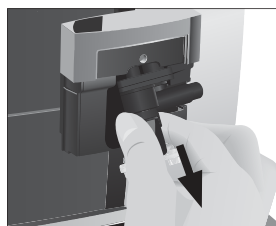
※洗剤が皮膚や目に直接触れないよう、安全のためゴム手袋や保護メガネの着用をおすすめします。

## 手順

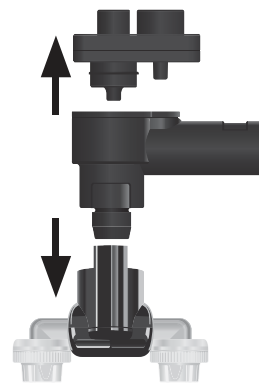
- ① ミルクチューブを取り外し流水できれいにすすぎます。
- ② 図のようにノズルカバーを手前にひいて取り外します。



- ③ ミルクシステム下部の筒状部分を持ち、ゆっくりと慎重に下に引き抜きます。

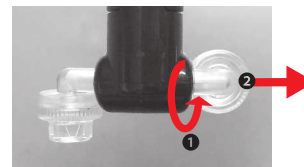


- ④ ミルクシステムを図のように3つのパーツに分解します。



⑤

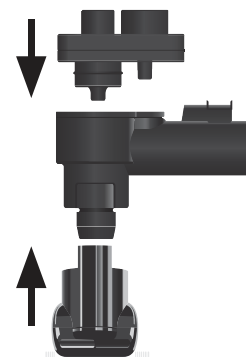
さらに下部両サイドにある透明の部品（ミルク出口部分）を後ろ側へ 90 度まわしてから引き抜きます



- ⑥ 中性洗剤を使用し、ブラシなどで全ての部品を洗います。こびりついた牛乳カスがある場合は、まず洗剤をうすめた洗浄液に個々のパーツをつけ置きしてから洗う事をお勧めします。

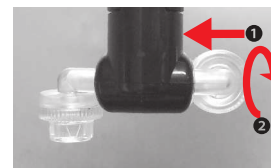
- ⑦ 汚れがおちたら各パーツを流水で徹底的にすすぎ、水分をよく拭き取ります。

- ⑧ 元通りに組み立てていきます。

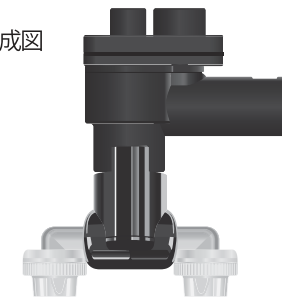


⑨

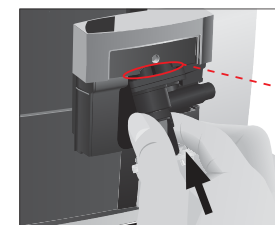
分解時と同じ向きで挿し込んでから手前に回して元の位置へ。



- ⑩ 組み立て完成図

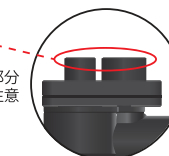


⑪



⑧⑨で組み上げたミルクシステムを元の位置に取り付けます。

ゴム部分巻き込み注意



⑫



ノズルカバーを取り付け最後にミルクチューブを右側の穴にしっかりと差し込んで終了です。

※組み立ての間違いや接続にゆるみがあるとミルクができませんのでご注意ください。



**必要なもの**



ご使用する水に含まれるカルシウム成分がマシン内部に徐々に蓄積されて固着してゆきます。最初に設定した水の硬度によりマシンは自動的にCA(カルシウム)除去洗浄を促します。  
※CA除去はおよそ40分かかります。  
※CA除去は中断しないでください。中断するとマシンの故障や損傷の恐れがあります。  
※専用除去剤はマシン販売店からご購入ください。

**ご注意**

※販売店指定のカルシウム除去剤(安全データシートあり)をご使用ください。指定以外のカルシウム除去剤を使用した場合、残留物が飲料に混入する恐れやマシンが破損する恐れがあり、保証を受けられません。  
※カルシウム除去剤の投入後は必ず最後まで実行して下さい。  
※洗剤が皮膚や目に直接触れないよう、安全のためゴム手袋や保護メガネの着用をおすすめします。  
※カルシウム除去剤は酸性です。アルミや大理石に付着した場合、損傷を与える恐れがあります。付着してしまった場合は直ちに洗い流してください。

**警告**

カルシウム除去剤は、皮膚や目に接触した場合、炎症を引き起こす可能性があります。皮膚や眼との接触を避け、万一目や皮膚に付着した場合はすばやくきれいな水で除去剤を洗い流してください。目に入った場合は、医師の診断を受けてください。

**作業時期**

- ◎「CA 除去してください」と表示が出る。
- ◎画面右上メンテナンスマークが部分が赤く点灯  
→手順①~③でCA除去マークが赤くなっている。
- ◎CA除去の表示が出ていなくても月に一度は実行を推奨

**手順**

① ↓ または画面左上のPにタッチ

もどる | お手入れステータス | 1/4

② 画面中央のアイコンにタッチ

③ または画面をスワイプ

もどる | **CA 除去** | 4/7

スケール故障の原因になります

④ 「CA 除去」の画面を表示させてアイコンにタッチ (アイコンが青色でも実行可能)

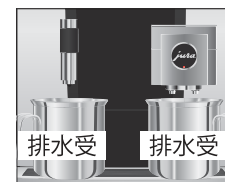
⑤ スタート x2  
画面に従いスタートにタッチ

⑥ 「排水トレイを空にして下さい」  
排水トレイとコーヒークラス容器を空にしてマシンに戻します。

⑦ 「CA 除去剤を水タンクに入れます」  
水タンクをマシンから外して空にします。  
正確に計った水 800ml とカルシウム除去剤を 4 個入れた溶液をつくり水タンクに注ぎます。

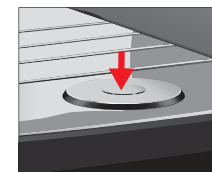
水 800ml (正確に計る)  
CA 除去剤 × 4錠

- ⑧ 左右の抽出口の下に排水受を用意します。除去剤が溶けた事を確認し、水タンクをマシンにセットします。  
「ロータリースイッチを押ししてください」



⑦⑧※水タンクを本体にセットしたまま行ったり本体へ戻すのが早すぎると次の段階に進めません。外してから10秒以上は間隔をあげ、除去剤が溶けてから本体に戻してください。

- ⑨ ロータリースイッチを押すと「マシン CA 除去中」と表示され排水が断続的に排出されます。

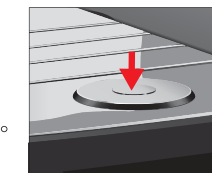


- ⑩ 電子音が鳴り「排水トレイを空にしてください」排水トレイとコーヒークラス容器を空にしてマシンに戻します。



- ⑪ ここからすすぎに入ります。「水タンクに水を入れてください」水タンクを取り外し、除去剤成分が残らないよう十分にすすいでください。その後新鮮な冷たい水で水タンクを満たして再度マシンにセット、左右の抽出口の下に排水受を用意します。

- ⑫ 「ロータリースイッチを押しください」  
「マシン CA 除去中」  
すすぎの水が断続的に排出されます。



- ⑬ 「排水トレイを空にしてください」排水トレイとコーヒークラス容器を空にして中性洗剤できれいに洗い(特にトレイ金属接点→P07参照)水分を拭き取り本体に戻してフロントカバーを閉じます。

**重要** ここで水タンクを取り外し、中の水分を全て空にして本体に戻します。

- ⑭ 「CA 除去が終了しました」通常画面に戻り作業終了です。  
※CA除去作業は必ず最後まで行ってください。  
※任意で行う場合も手順は同様です。

# ▶メニュー設定変更



Pをタッチまたはスタートスクリーン表示中にロータリースイッチを押す→

設定変更したいメニューアイコンを2秒以上長押し→

各メニューの設定可能項目が表示されます。  
タッチ&スワイプでお好みの値を指定後保存します。

## 【メニュー設定】

メニュー	コーヒーの濃度	左右グラインダー配分	容量 追加湯量	温度	ミルク ミルクフォーム	備考
エスプレッソ	00000 10段階	5段階  0% 25% 50% 75% 100%	コーヒー: 15~290ml 追加湯量*: 0~580ml (コーヒー+追加湯=抽出総量)	コーヒー温度 3段階  低 ・ 中 ・ 高  ※1	-	*追加湯=コーヒーを通さないクリアなお湯を足すことでロングサイズでも雑味の少ないすっきりした味わいを出すことができる機能。 全コーヒーメニューに設定可能。 追加湯を設定しているメニューはアイコンに追加湯のマーク  が表示されます。
コーヒー						設定した容量を2回にわけて半量ずつ抽出(2ストローク固定)。 エスプレッソドoppioは2杯取メニューの作成ができません。
アメリカーノ						設定量を指定したストローク数で連続抽出 ※途中でアラート(例:水や豆の不足等)が出た場合は動作が中断され、アラート内容を解消しても抽出は再開されません。
ルンゴ						ポットコーヒーは2杯取メニューの作成ができません。
リストレット						ミルク→コーヒーの順にです。
スペシャル						コーヒー→ミルクの順にです。
エスプレッソ・ドoppio (2ストローク)						ミルク→エスプレッソの順にです。
ポットコーヒー (1~5ストローク)						コーヒー→ミルクの順にです。
カプチーノ						ミルク→ポーズ→コーヒーの順にです。 *ポーズ=ミルクのフォーム層/液層を際立たせるための一時停止時間
カフェラテ						
マキアート						
フラットホワイト						
ラテマキアート						
ミルクフォーム				ミルク温度10段階※2		
ミルク						
熱湯				熱湯温度 3段階 低中高		熱湯は2杯取メニューの作成ができません。
熱湯(お茶用)			25~450ml			
熱湯(紅茶用)						

【メニュー名】 変更可(英数記号・キリル文字のみ、日本語入力不可) 最大16文字まで

【削除】 指定したメニューをスタートスクリーン※3から削除できます。削除メニューはメニューセレクト※4の最後に移動、かつ初期設定に戻ります。

【位置変更】 指定したメニューをスタートスクリーン※3内のお好きな位置に移動できます(指定元と指定先の入れ替え)

【コピー】 既存メニューを複製後、設定を変え別名保存ができます。

【x2】 指定したメニューの2杯取が作成できます(スタートスクリーン表示メニューのみ) 抽出総量がおおよそ倍になります。1杯取と2杯取の濃さを揃えるには1杯あたり豆マーク5以内で設定することをお勧めします。

※1 ショートコーヒーの温度低下を防ぐため、80ml以下のメニューは自動的にX-HOTの温度で抽出するIntelligent Heating Systemが作動します。

※2 ミルク温度は10段階の指定域がありますが、ミルクの種類や元の温度など諸条件によって抽出に影響されます。温度設定が高いとミルクが出ない場合があるため実際にご使用になるミルクで事前抽出の可否をご確認ください。  
(出ない場合は低めの温度設定を推奨)

※3 スタートスクリーン=初期表示されている2枚のメニュー画面


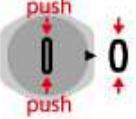
※4 メニューセレクト(ロータリースイッチを回すと表示される)内のメニューを変更したい場合はメニュー位置をスタートスクリーンに移動・保存する必要があります。

まず移動したい場所にあるスタートスクリーンメニューを長押し→位置変更→スタートスクリーンに持ってきたメニューをメニューセレクトから選択→「置き換えますか?」「はい」

※ご注意※ **メニューセレクトへ移動したメニューは基本的に初期設定に戻ってしまいます。オリジナルの設定はスタートスクリーン内の16メニューのみ可能とお考えください。**

# ▶こんなときは・トラブルシューティング

ディスプレイ表示	原因および結果	解決方法
コーヒー粉が足りません	コーヒー粉の量が充分ではありません。 マシンは動作を中止します。	付属の粉コーヒー計量スプーン(最大2杯) をご使用ください
背面カバーが外れています	マシン背面のサービスカバーが正しく装着されていません。マシンは動作を中止します。	サービスカバーを正しく装着してください。(P.4参照)

トラブル	原因および結果	解決方法
ミルクフォームがぬるい ミルクフォームが泡立たない	◎抽出口が汚れている。 ◎エアサクシジョンのはりつき、劣化。 	◎ロータリースイッチ→メンテナンスキーからミルクシステムの洗浄を行います。時間ができ次第分解清掃 (P.10)をして下さい。 ◎P.10①～③を参照しミルクシステム部品を外した後、本体側に残っているパーツに専用キーの六角レンチ部を挿し込み、時計回りにゆるめて取り外します。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">             外した部品をよく洗い、下から見て中央にあるゴム製部品を爪の先やピンセットなどで両端から押し試みて開口部が貼りついていれば開くようになるまで何度か押しで解消し、元に戻します。それでも改善しない場合はご相談ください。           </div>
ミルクを吸わない ミルク・ミルクフォームが出ない	◎ミルクシステムの組み立て不良。 ◎温度設定がマッチしていない可能性があります。	◎P10を参照し組み立てが正しいか、接続にゆるみがないかご確認ください。 ◎P12を参照し、各メニューの設定から、実際にミルクが出るところまでミルクの温度設定を下げます。
コーヒーが滴る程度しか出なくなった	◎グラインダーの挽目が細かすぎます。 ◎コーヒー抽出フィルターの目詰まり。	◎グラインダーの挽目を粗く調整してください ◎コーヒーのフィルターをかわいた布巾で拭き取ります (販売店にご連絡ください)
豆容器が空になっているのに「豆がありません」の表示が出ない	豆容器が汚れてモニターが正しく働いていません。	乾いた清潔な布などで豆容器内を拭いてください (水分厳禁)
豆容器に豆が入っているのに「豆がありません」の表示が出て抽出できない	◎豆容器のシャッターが閉じている。 ◎フィンガーガードにあたって豆がうまく落ちていない。	◎背面のサービスカバーを外して左右の豆シャッターがしっかりと開いているか確認してください。 ◎金属製のスプーン等でコンテナ内のコーヒー豆を下に向かって流しこんでみてください
「排水トレイを空にしてください」と常に表示される	排水トレイ後端の金属接点汚れているか濡れています。	金属接点の表裏および2枚の接点の間を中性洗剤等で洗い、乾いた布で水滴を拭き取ってください。 →P07日常のメンテナンス
(CA除去作業中) 水が入っているのに「水タンクに水を入れてください」と表示	水タンクがまっすぐセットされていない。 水タンク内のフローター固着	水タンクを正しくセットしなおしてください 中性洗剤を使用し水タンクをきれいに洗ってください
ERROR5	加熱不良。長時間寒い場所に蔵置されると安全上再加熱されなくなります。	一旦電源を切り、マシンが室温になるまでお待ちください。 電源をいれなおしても解消しない場合は販売店にご連絡ください。
ERROR16	ベンチレーションリブ(マシン上部換気口) に異物等が挟まり開閉できない状態です。	豆やゴミなどが挟まっていれば取り除きます。(マシン背面側から覗き込むと見つけやすいです。) ベンチレーションリブの上には物を置かないようにしてください。
ERROR6または7 ERROR8	マルチバルブ位置不良。 抽出ユニット位置不良。	至急販売店にご連絡ください。 (電源を落としてプラグを抜き、数分後再び電源を入れるとしばらく使用できる場合があります。)
ERROR11～14	グラインダー不具合。	電源を落とし販売店にご連絡ください。可能であれば何番のエラーかをお知らせください。
ERROR〇〇の表示		電源を落とし販売店にご連絡ください。可能であれば何番のエラーかをお知らせください。



# GIGA X8C G2-CAS

設定画面へ	項目選択	設定項目	選択項目	内容/設定範囲	備考	進行	通常画面へ	
P に タ ッ チ  ま た は  ス タ ー ト ス ク リ ー ン 表 示 中 に ロ ー タ リ ー ス イ ッ チ を 押 す	●お手入れステータス (1/4)	└ マシン洗浄(1/7)		P.08 を参照して洗浄実行	下部のバーで次のお手入れまでの目安がわかります	└スタート └キャンセル		
		└ フィルター交換(2/7)		サービスマンが設定します。	ご不明点は販売店にご相談ください			
		└ CA除去 (3/7)		P.11 を参照してCA除去実行	下部のバーで次のお手入れまでの目安がわかります フィルターアクティブ (=使用) の場合はCA除去は表示されません	└スタート └キャンセル		
		└ ミルクシステムクリーニング (4/7)		P09 を参照してミルク洗浄実行	ミルクを使用した場合は必ず毎日行います。			
	●マシン設定 (2/4)	└ すすぎ (5/7)	アイコンにタッチ→すぐにすすぎが始まります(コーヒーライン、ミルクライン)			抽出口の下に排水受をご用意下さい		
		└ 表示ロック (6/7)	画面ロック		タッチスクリーンの清掃時、画面が反応しないようにロックします。ロータリースイッチを押すとロック解除		もどる	
		└ メンテナンス情報 (7/7)			お薦めする日々のお手入れについて表示			
		└ オフまでの時間	スイッチ切時間設定		最後の抽出から15分後、30分後、1時間後～(以降1時間きざみ) 15時間			
		└ 時刻	時間設定		タッチパネルで時刻入力			
		└ 日付	日付設定		タッチパネルで日付入力 西暦/月/日付			
		└ タイマー (電源が自動でオンオフする時間)	(月)～(日) 毎日	└ └	マシン スイッチ オン マシン スイッチ オフ	タッチパネルで時刻入力 ※「毎日」を選択→設定オンオフ時刻が全曜日に適用 消したい場合:時刻を削除→非アクティブ		
		└ グラインダ選択	└オフ(○) └オン(   )		左右各々0～100%から指定(25%きざみ) 片側を操作→左右計100%に自動表示	オン→メニュー画面にグラインダーアイコン表示。スワイプで左右割合指定が可能に。※グラインダーアイコン表示位置にあったメニューはメニューセクタへ。		
		└ 挽き粗さ設定	└左グラインダー └右グラインダー		5段階から選択	左グラインダー指定→右グラインダー指定	└保存 └もどる	
		└ 省エネルギー (Energy Save Mode)	└無効(○) └有効(   )		全てのメニューが即座に提供可能 最後の抽出から5分経つと全ボイラーがスリープ状態に(画面にESMと表示)	次の抽出はマシン加熱後スタート		
		└ 機能の可否	└抽出中の変更		無効(鍵マーク)/ 有効(鍵解除マーク) 無効を選択すると鍵のアイコン表示	抽出中の濃さ、量変更機能をロック	無効=お手入れに関する文字アラートを画面に表示させない (かわりに赤いリンスマーク表示→お手入れステータスから必要な作業を確認)	
			└エキスパートモード			アイコン長押しによるメニュー設定変更機能をロック		
			└ロータリースイッチ			メニューセクタ画面表示および ロータリースイッチからのプログラム画面表示をロック		
			└アラーム表示					
		└ 初期設定に戻す	工場出荷時状態に戻す		「はい」を選択すると自動で電源OFF。次回起動時英語表記(要言語選択)		└はい └もどる	
		└ 単位表記変更	ml/oz		液量単位を選択			
	└ 時刻表示方法設定	24hrs/AM・PM		時刻表記方法を選択 AM・PM指定の場合は時刻で12以上の数字入力不可				
	└ 表示設定	ディスプレイの明るさ調整		10～100%(10%きざみ)		└保存 └もどる		
	└ 水の硬度	水の硬度設定		1dH～30dH	サービスマンが設定します。			
	└ 言語の選択	独/英/仏/西/伊/蘭/ポルトガル/ロシア/スウェーデン/ポーランド/エストニア/日本語						
	└ アクセサリーの接続	Bluetoothを有効にする		出荷時オフ設定。ご利用になる場合はご相談ください。		└次へ └もどる		
	└ アクセサリーの接続を切る							
	└ システムを空に	マークをタッチ→スタート		マシン内部の水抜き	輸送時や寒冷地での保管などが必要な際に行います	└スタート └キャンセル		
	└ バージョン	ソフトウェアのバージョン表示		ソフトウェアのバージョン表示		もどる		
	●メニューの設定 (3/4)	└ メニュー設定	詳細はP12メニュー設定変更をご覧ください					
		└ メニュー名	変更可(英数記号・キリル文字のみ、日本語入力不可)最大16文字まで					
└ 削除		指定したメニューをスタートスクリーンから削除できます。削除メニューはメニューセクタの最後に移動、かつ初期設定に戻ります。				└保存 └もどる		
└ 位置変更		指定したメニューをスタートスクリーン内のお好きな位置に移動できます(指定元と指定先の入れ替え) 既存メニューを複製後、設定を変え別名保存ができます。						
●情報表示 (4/4)	└ 合計抽出杯数(1/3)	これまでの総抽出数を表示						
	└ 日毎抽出杯数(2/3)	その日の総抽出数を表示	もどる→カウンターを0にしますか?	はい/いいえ どちらか決定することで前画面に戻ります				
	└ お手入れ回数(3/3)	└クリーニング				もどる		
		└カルキ除去						
└クラリス交換			=フィルター交換数	それぞれのお手入れ回数を表示				
	└ミルクシステムクリーニング							